

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020101020100		事業の種類	1	
年度	30	事務事業名	献血推進事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名(中)		地域医療の充実を図る		担当課長	清水 直子	担当者名	中里 智美
取組み事項		地域医療体制を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		安全な血液製剤の安全供給の確保に関する法律					
事業の目的	誰のために(具体的に)	病気や怪我の患者の治療のための血液を必要とする市民					
	誰(何)を対象として	健康な16歳から69歳までの市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	兵庫県計画献血による献血の推進					

2 事業の概要 Do

実施の概要		年3回、姫路血液センターの献血車により、福祉会館前において、献血を実施。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	献血量	ml	59,200	56,600	62,600	62,000

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.044	0.044	100	0.044	100	0.044	100	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	784,246	816,064	104	807,596	99	796,704	99	
	事業費			-		-		-	
	合計	784,246	816,064	104	807,596	99	796,704	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	784,246	816,064	104	807,596	99	796,704	99	
合計	784,246	816,064	104	807,596	99	796,704	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		献血者数							
指標説明(式)		200ml・400ml献血者の計							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	140	150	107.1	150	100.0	150	100.0	
	実績	158	147	93.0	163	110.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

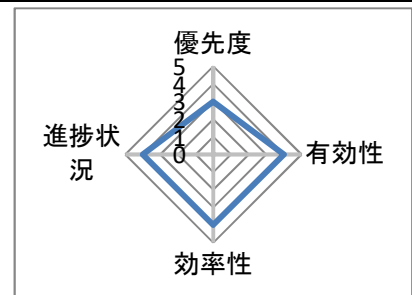
指標名1		目標献血量							
指標説明(式)		1回あたり献血量目標単位=95単位(1単位=200ml)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
単位	目標	90	90	100.0	90	100.0	90	100.0	
	実績	99	94	94.9	104	110.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	献血者の増加	4
効率性	手段の最適性	献血車1台あたりの献血量の確保	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	献血者数、献血量は、計画どおり確保できた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	引き続き献血の啓発を継続して行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	市民カレンダーや広報誌等に掲載し、周知と啓発を図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020101020200		事業の種類	2		
年度	30	事務事業名	救急医療施設運営事業		予算事業名	救急医療施設運営事業 優先度		3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名(中)		地域医療の充実を図る			担当課長	清水 直子	担当者名	中里 智美
取組み事項		地域医療体制を充実する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		救急医療対策事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	夜間及び診療時間外での急病者等						
	意図(どのような状態にしたいのか)	救急医療施設運営により、緊急時の診療体制の確保。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		夜間及び休日の緊急時の診療体制を確保するため、在宅当番医制(一次)・病院群輪番制(二次)により運営。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	休日急患診療受診者	人	728	718	784	750
	病院群輪番制受診者	人	386	409	393	400
	小児科救急医療受診者	人	692	586	475	500

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.028	0.028	100	0.028	100	0.028	100	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	663,686	692,576	104	688,652	99	671,024	97	
	事業費	18,805,470	18,955,470	101	19,102,440	101	19,430,000	102	
	合計	19,469,156	19,648,046	101	19,791,092	101	20,101,024	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	916,000	916,000	100	934,000	102	952,000	102	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	18,553,156	18,732,046	101	18,857,092	101	19,149,024	102	
合計	19,469,156	19,648,046	101	19,791,092	101	20,101,024	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ受診者数(人)							
指標説明(式)		夜間及び診療時間外時の急病等による受診者の増減							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2,000	2,000	100.0	1,900	95.0	1800	94.7	
	実績	1,806	1,713	94.9	1652	96.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

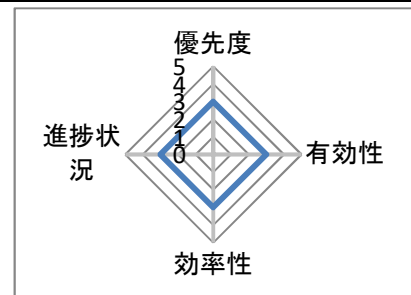
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	夜間及び休日における診療体制の確保により市民が安心して暮らせる。	3
	市民サービス	夜間及び休日における診療体制の確保により救急医療が受けられ、大事に至らず安心感が得られる。	
効率性	負担割合の適正化	相生市・赤穂市・上郡町の2市1町の人口に対する負担割合である。	3
	手段の最適性	医師会に運営委託。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	、概ね予定した受診者数であった。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	小児救急において、夜間及び休日の受け入れに空白日がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	小児救急の受け入れ空白日の解消のため、中播磨圏域との連携を強化していく。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020101020300		事業の種類	1	
年度	30	事務事業名	若年者の在宅ターミナルケア支援事業		予算事業名	若年者の在宅ターミナルケア支援事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名(中)		地域医療の充実を図る		担当課長	清水 直子	担当者名	中里 智美
取組み事項		地域医療体制を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	20代、30代の若年の末期がん患者					
	誰(何)を対象として	治癒を目的とした治療を行わない20代、30代の若年の末期がん患者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	日常生活を送れるよう、在宅における生活を支援する					

2 事業の概要 Do

実施の概要						
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
				1	1	2

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.028	-	0.029	104	
	参事以下職員			-	0.012	-	0.012	100	
	臨時職員			-	0.020	-	0.020	100	
支出内訳	人件費			-	514,328	-	487,944	95	
	事業費			-	108,990	-	324,000	297	
	合計			-	623,318	-	811,944	130	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	623,318	-	811,944	130	
	合計			-	623,318	-	811,944	130	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標		3	-	2	66.7	2	100.0	
	実績		1	-	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

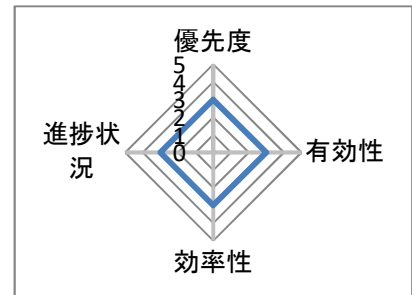
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	サービスに係る費用が高額であるため、利用者の自己負担に併せて、市が利用料の1割相当額を月6万円を限度として女性することで、費用負担の軽減が図れる。	3
効率性	手段の最適性	利用者は、サービスの利用が終われば、自己負担を除いた利用料を女性するが、利用期間中は月単位でも助成が可能である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画よりも利用件数が少なく、費用対効果も低かった。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	利用件数が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	特になし。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020101030100		事業の種類	3		
年度	30	事務事業名	病院管理事務事業		予算事業名	優先度		3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民病院市民病院			
施策名(中)		地域医療の充実を図る		担当課長	後藤卓	担当者名	後藤卓	
取組み事項		安定した市民病院の運営を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		公営企業法、医療法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	病院管理等を行うすべての関係職員						
	誰(何)を対象として	病院管理等を行うすべての関係職員						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民病院として健全経営を目指し、職員の定員管理をはじめ、医事管理業務並びに施設管理を適正かつ効率的・効果的に行い経営の透明性を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		適正な職員定数・医事管理を行い、事務処理等の透明性を確保する。また、施設管理等の諸経費の節減や見直しを図り、持続可能な維持管理に努める。(金額は税込)					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	職員の適正配置	人	39	39	37	45	
	保守委託の精査	千円	63107	63225	62313	65883	
	時間外勤務手当削減	千円	3917	4040	5736	5046	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.500	0.500	100	0.500	100	0.500	100	
	臨時職員	0.500	0.500	100	0.500	100	0.500	100	
支出内訳	人件費	5,419,426	5,547,112	102	5,471,240	99	5,698,784	104	
	事業費			-		-		-	
合計		5,419,426	5,547,112	102	5,471,240	99	5,698,784	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,419,426	5,547,112	102	5,471,240	99	5,698,784	104	
合計		5,419,426	5,547,112	102	5,471,240	99	5,698,784	104	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		病院事業費用経費							
指標説明(式)		医業費用のうち経費部分の経費(税込)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	184232	169099	91.8	166951	98.7	162554	97.4	
	実績	163218	153372	94.0	153644	100.2			
指標名2		職員数の適正化							
指標説明(式)		看護師の配置は、10:1体制で35床を届出基準としている。							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	42	41	97.6	40	97.6	45	112.5	
	実績	39	39	100.0	37	94.9			

【効率性】

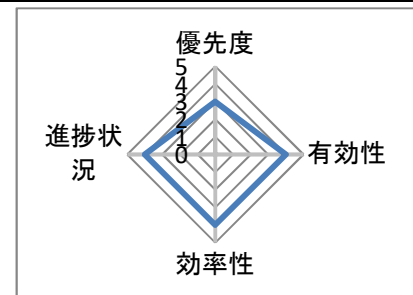
指標名1		職員給与費比率							
指標説明(式)		職員給与費÷医業収益×100(職員数等の適否を示す。)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	49.2	45.4	92.3	45.4	100.0	45.4	100.0	
	実績	50.7	52.3	103.2	51.3	98.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	職員のコスト意識を喚起するため、院内運営委員会において経営状況を共有するとともに、各科での課題を院内で議論し、経営改善に努めた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	適正な医事管理業務を行った。また、医療法等の関係法令を順守し、適切な諸手続きを行った。	
効率性	執行体制の効率性	臨時職員・パート職員の活用を図るとともに、院内の業務分担を見直し、看護師の業務負担軽減を図った。	4
	コストの節減	診療材料や委託業務等について、見積もり合わせによるコスト削減に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	薬剤師、臨床検査技師が1人体制であった時期があり時間外が増加した。医療スタッフの確保に努めるとともに、経費削減についても更に見直す必要がある。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	医療スタッフの確保。 施設の老朽化に伴う修繕経費の増。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設修繕については、現状把握を行い優先順位に沿って計画的に行う。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020101030200		事業の種類	4	
年度	30	事務事業名	病院運営事務事業		予算事業名		
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民病院市民病院			
施策名(中)	地域医療の充実を図る		担当課長	後藤卓		担当者名	後藤卓
取組み事項	安定した市民病院の運営を行う		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		公営企業法、医療法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	周辺地域住民を含めたすべての市民					
	誰(何)を対象として	周辺地域住民を含めたすべての市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民病院としての健全経営を確保し、効率・継続的な病院運営により、地域住民に信頼される安全・安心で質の高い医療提供を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		安全・安心で良質な医療を提供するために、病院機能の充実強化、常勤医師の確保等医療提供体制の整備をはじめ、サービスアップの推進など積極的な改革を行い経営の健全化、安定した経営基盤の確立を図る。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	経常収支比率	%	98.1	96.2	95.3	97.8
	医業収支比率	%	85.0	83.9	83.7	88.0
	病床の有効活用	%	79.2	72.2	72.1	80.9
	一般会計繰入金	千円	87085	81444	80173	64000

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.500	0.500	100	0.500	100	0.500	100	
	臨時職員	1.500	1.500	100	1.500	100	1.500	100	
支出内訳	人件費	8,026,426	8,181,112	102	8,240,240	101	8,568,784	104	
	事業費			-		-		-	
	合計	8,026,426	8,181,112	102	8,240,240	101	8,568,784	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,026,426	8,181,112	102	8,240,240	101	8,568,784	104	
合計	8,026,426	8,181,112	102	8,240,240	101	8,568,784	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		経常収支比率							
指標説明(式)		経常収益÷経常費用×100(税抜き)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	97.4	97.4	100.0	97.6	100.2	97.8	100.2	
	実績	98.1	96.2	98.1	95.3	99.1			
指標名2		医業収支比率							
指標説明(式)		医業収益÷医業費用×100(税抜き)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	84.5	87.5	103.6	87.8	100.3	88.0	100.2	
	実績	85.0	83.9	98.7	83.7	99.8			

【効率性】

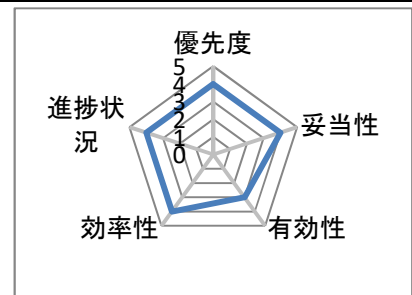
指標名1		稼働病床利用率							
指標説明(式)		入院患者数÷(35床×365日)×100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	78.9	79.7	101.0	80.0	100.4	80.9	101.1	
	実績	79.2	72.2	91.2	72.1	99.9			
指標名2		1日平均外来患者数							
指標説明(式)		外来患者延数÷外来診療日数 ※平成28年度は293日/年							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	50.0	50.0	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	50.6	49.9	98.6	49.5	99.2			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	各評価指標について、目標が達成できなかった。	3
	市民サービス	自治体病院は、安全・安心な医療提供を一層求められる。ヒヤリハット等の検証・防止を確実にいき、医療の安全確保に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	看護配置を適正に行い、他科との業務分担についても常に改善した。	4
	手段の最適性	業務の見直しを行うとともに、業務委託についても精査した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	病床稼働率が低い。 評価指標は目標に達していない。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	病床稼働率が低い



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	経営改善に向け地域包括ケア病床を導入する。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102010100		事業の種類	1		
年度	30	事務事業名	保健対策推進事業		予算事業名	保健対策推進事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	清水 直子	担当者名	中里 智美	
取組み事項		健康づくり意識を醸成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		地域保健法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民の健康づくり及び歯科保健の推進						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の健康づくりや歯科保健に対する総合的な把握と基本的な施策を協議し、健康づくり事業の調整及び推進方策等を決定する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		「健康づくり推進協議会」及び「歯科保健推進協議会」を開催					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	健康づくり推進協議会	開催回数	1	1	1	1	
	歯科保健推進協議会	開催回数	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.140	0.172	123	0.220	128	0.252	115	
	臨時職員	0.036	0.046	128		0		-	
支出内訳	人件費	1,497,178	1,819,772	122	2,005,220	110	2,315,744	115	
	事業費	420,000	425,000	101	380,000	89	445,000	117	
	合計	1,917,178	2,244,772	117	2,385,220	106	2,760,744	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,917,178	2,244,772	117	2,385,220	106	2,760,744	116	
合計	1,917,178	2,244,772	117	2,385,220	106	2,760,744	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		推進協議会協議項目数							
指標説明(式)		協議項目の内容							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

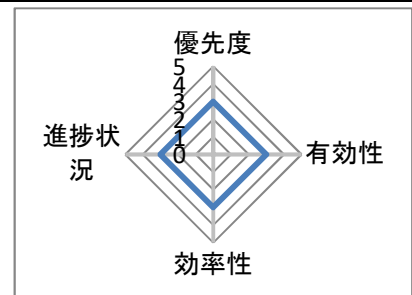
指標名1		推進協議会等開催回数							
指標説明(式)		市民の健康に関する有識者、関係団体から選出された委員が協議する。							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	各協議会により審議された事柄を施策に反映。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	市民の健康増進に寄与できている。	
効率性	手段の最適性	協議会内容充実のため、協議項目を見直しながら協議した。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	「健康づくり推進協議会」及び「歯科保健推進協議会」をそれぞれ開催し、健康づくり及び歯科保健に関する実施事業の協議を行った。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	健康増進計画の進行管理。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	健康増進計画の進行状況を把握し、評価・改善を行っていく。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102010300		事業の種類	1		
年度	30	事務事業名	健康づくり推進事業		予算事業名	健康づくり推進事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	清水 直子	担当者名	高橋 幸恵	
取組み事項		健康づくり意識を醸成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		地域保健法、健康増進法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する主に39歳以下の市民						
	誰(何)を対象として	市内に居住する主に39歳以下の市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	若年期からの生活習慣病予防の意識向上と生活習慣病予防を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		39歳以下の健康診査(基本健康診査、がん検診)胃がんリスク節目検診(30歳)				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	基本健康診査	人	88	90	72	75
	がん検診	人	125	124	106	120
	胃がんリスク検診	人	32	33	34	0

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.212	0.176	83	0.366	208	0.308	84	
	臨時職員	0.020		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,997,986	1,729,480	87	3,090,584	179	2,755,624	89	
	事業費	3,334,502	2,739,344	82	2,341,842	85	3,189,000	136	
	合計	5,332,488	4,468,824	84	5,432,426	122	5,944,624	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	910,100	611,400	67		0		-	
	一般財源	4,422,388	3,857,424	87	5,432,426	141	5,944,624	109	
合計	5,332,488	4,468,824	84	5,432,426	122	5,944,624	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		がん検診受診者数							
指標説明(式)		39歳以下の胃がん・肺がん・大腸がん検診の受診者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	200	200	100.0	170	85.0	120	70.6	
	実績	125	124	99.2	106	85.5			
指標名2		胃がんリスク検診(ABC検診)節目受診者数							
指標説明(式)		受診者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	50	100.0	50	100.0	0	0.0	
	実績	32	33	103.1	28	84.8			

【効率性】

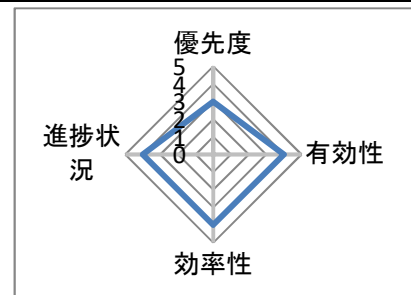
指標名1		健診回数							
指標説明(式)		集団健診の延べ回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	13	13	100.0	13	100.0	13	100.0	
	実績	13	13	100.0	13	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	受診人数としては大きな変化はないが、勤務先等で受診機会のない若年者の健康診査の機会となっている。	4
	市民サービス	若年者の健康診査受診の機会が得られ、健康づくりに活かすことができている。	
効率性	執行体制の効率性	若年者が受診しやすい環境づくりとして、健診回数や受診場所の拡大が検討されるが、健診機関、医師会等との調整が必要である。	4
	手段の最適性		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市単の健康診査として、低料金で若年者に健診の機会を設けることができている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	胃がんリスク検診を個別医療機関で受診可能にしていたが、費用対効果が得られていない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	個別の医療機関による受診を集団健診のみ受診可能とした。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102010400	事業の種類	1
年度	30	事務事業名	後期高齢者健康増進事業	予算事業名	後期高齢者健康増進事業 優先度
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課	
施策名(中)	健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	清水 直子	担当者名
取組み事項	健康づくり意識を醸成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査に準拠した基本健康診査				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する75歳以上の市民			
	誰(何)を対象として	市内に居住する75歳以上の市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活習慣病の予防を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		基本健康診査受診者数				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	基本健康診査	人	947	928	940	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.140	0.160	114	0.132	83	0.252	191	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,403,326	1,605,992	114	1,351,028	84	2,315,744	171	
	事業費	4,520,503	4,707,014	104	4,967,760	106	5,668,000	114	
	合計	5,923,829	6,313,006	107	6,318,788	100	7,983,744	126	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	4,699,280	4,614,133	98		0		-	
	一般財源	1,224,549	1,698,873	139	6,318,788	372	7,983,744	126	
合計	5,923,829	6,313,006	107	6,318,788	100	7,983,744	126		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		基本健診受診者数							
指標説明(式)		基本健康診査受診者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	950	1000	105.3	1000	100.0	1000	100.0	
	実績	947	928	98.0	940	101.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

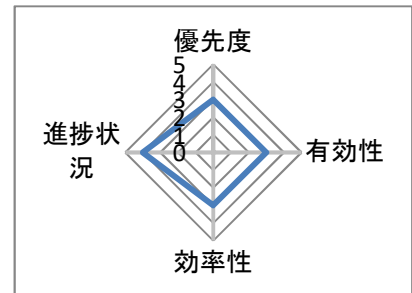
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	集団健診は、基本健康診査だけでなく、がん検診など同時に受診できる項目があることが充実しており、受診時間の予約制による待ち時間の解消により受診者数が少し増加した。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	生活習慣病の重症化を予防し、健康寿命の延伸に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	延べ13日間にわたり、公民館、小学校体育館など身近な場所で受診できる集団健診の実施により、受診機会を確保することができた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画受診者数同等の受診者数があった。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	なごさホールを中心に、JA、双小、多目的研修センターの外部の会場を借りて実施しているが、外部会場は、駐車場、待合場所の確保ができない。また、ほとんどが階段利用であり、高齢者にとって



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	安全に健診を受診してもらう会場設定にする。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102010600		事業の種類	4		
年度	30	事務事業名	健康ポイント制度事業		予算事業名	健康ポイント制度事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する			担当課長	清水 直子	担当者名	中里 智美
取組み事項		健康づくり意識を醸成する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	20歳以上の市民						
	誰(何)を対象として	20歳以上の市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康づくりと予防対策につながる運動習慣等の定着を促す。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		ポイントカードを配布し、健診受診や日々の運動等を実践したポイント達成者に記念品を贈呈する。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	ポイント達成者数	人	101	139	169	200	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.200	0.200	100	0.274	137	0.376	137	
	臨時職員	0.100	0.120	120	0.080	67	0.080	100	
支出内訳	人件費	2,116,126	2,230,792	105	2,628,176	118	3,519,364	134	
	事業費	279,976	251,570	90	349,250	139	318,000	91	
	合計	2,396,102	2,482,362	104	2,977,426	120	3,837,364	129	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,396,102	2,482,362	104	2,977,426	120	3,837,364	129	
合計	2,396,102	2,482,362	104	2,977,426	120	3,837,364	129		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ポイント達成者数							
指標説明(式)		ポイント達成者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	300	300	100.0	200	66.7	200	100.0	
	実績	101	139	137.6	169	121.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

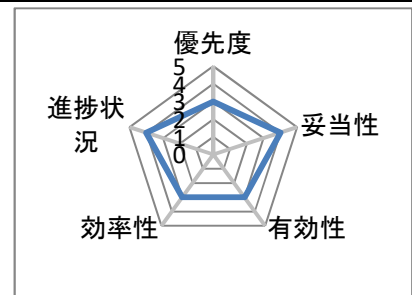
指標名1		1人当たりの事業費							
指標説明(式)		(人件費+事業費)÷達成者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	8,433	8,248	97.8	12,939	156.9	14887	115.1	
	実績	23,724	17,859	75.3	17618	98.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	ポイント達成者に記念品を贈呈することにより、さらなる意欲の向上を図った。	3
効率性	コストの節減	参加者自らが運動等に取り組むため、事業費が抑制されており、取組み人員の増加により1人当たりの事業費コストを節減することができた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民への周知啓発に努めた結果、達成者数の増加が見込めた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	達成者が増加しており、引き続き目標人数に達成できるよう取組み、人員を確保していく。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	ポイントカード見直しや各事業での普及啓発に努める。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102020100		事業の種類	1			
年度	30	事務事業名	健康増進事業		予算事業名	健康増進事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する			担当課長	清水 直子	担当者名	藤本 理恵	
取組み事項		病気などの早期発見と早期治療を推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		健康増進法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	40歳以上の市民(子宮がん検診は20歳以上)							
	誰(何)を対象として	40歳以上の市民(子宮がん検診は20歳以上)							
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康意識の向上、健康寿命の延伸及び介護予防							

2 事業の概要 Do

実施の概要		健康診査(がん検診、歯周疾患健診、骨粗鬆症検診)、健康教育(集団健康教育)、健康相談(重点健康相談、総合健康相談)				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	健康診査	人	9096	8899	7230	7500
	健康相談	人	1434	1673	658	680
	集団健康教育	人	375	169	212	220

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.734	0.662	90	0.676	102	0.518	77	
	臨時職員	0.076	0.072	95	0.020	28	0.020	100	
支出内訳	人件費	6,077,248	5,670,076	93	5,450,504	96	4,462,574	82	
	事業費	23,513,244	24,794,712	105	25,127,786	101	29,437,000	117	
	合計	29,590,492	30,464,788	103	30,578,290	100	33,899,574	111	
財源内訳	国庫支出金	344,000	158,000	46	137,000	87	281,805	206	
	県支出金	1,902,000	1,841,000	97	1,521,000	83	2,230,000	147	
	市債			-		-		-	
	その他	4,013,900	4,725,700	118	3,996,857	85	5,968,000	149	
	一般財源	23,330,592	23,740,088	102	24,923,433	105	25,419,769	102	
	合計	29,590,492	30,464,788	103	30,578,290	100	33,899,574	111	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		子宮がん検診							
指標説明(式)		受診率							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	14	11	78.6	13	118.2			
指標名2		子宮がん検診受診者数(集団)							
指標説明(式)		生活習慣病健康診査同時子宮がん検診受診者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	60	-	120	200.0	120	100.0	
	実績	0	78	-	111	142.3			

【効率性】

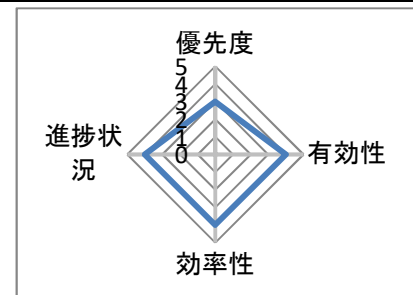
指標名1		子宮がん検診受診者数(個別)							
指標説明(式)		医療機関における子宮がん検診受診者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
数	目標	700	600	85.7	550	91.7	580	105.5	
	実績	541	478	88.4	492	102.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	30	31	103.3	31	100.0		0.0	
	実績	30	31	103.3		0.0			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	健康増進法等に合致する内容で、柔軟に対応ができています。	4
	市民サービス	生活習慣病健康診査と同時実施できる日を新たに設け、市民サービスにつなげた。	
効率性	手段の最適性	子宮がん検診については、姫路市、赤穂郡、たつの市・太子町医師会と引き続き事業実施委託契約を締結し、受診医療機関の充実を図ることができた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	受診医療機関が増設され、さらに受診しやすい環境が整いつつある。がん対策推進員の協力のもと地域に密着したPR活動が行われている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	新規受診者の取り込み



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	一定年齢への個別通知等により受診勧奨を実施し、新規受診者の取り込み及び継続受診者を確保する

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102020200		事業の種類	1		
年度	30	事務事業名	健康づくり推進事業		予算事業名	健康づくり推進事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	清水 直子	担当者名	高橋 幸恵	
取組み事項		病気などの早期発見と早期治療を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		地域保健法、健康増進法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する主に39歳以下の市民						
	誰(何)を対象として	市内に居住する主に39歳以下の市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	若年期からの生活習慣病予防の意識向上と生活習慣病予防を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		39歳以下の健康診査(基本健康診査、がん検診)胃がんリスク節目検診(30歳)				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	基本健康診査	人	88	90	72	75
	がん検診	人	125	124	106	120
	胃がんリスク検診	人	32	33	34	0

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.212	0.176	83	0.366	208	0.308	84	
	臨時職員	0.020		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,997,986	1,729,480	87	3,090,584	179	2,755,624	89	
	事業費	3,334,502	2,739,344	82	2,341,842	85	3,189,000	136	
	合計	5,332,488	4,468,824	84	5,432,426	122	5,944,624	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	910,100	611,400	67		0		-	
	一般財源	4,422,388	3,857,424	87	5,432,426	141	5,944,624	109	
合計	5,332,488	4,468,824	84	5,432,426	122	5,944,624	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		がん検診受診者数							
指標説明(式)		39歳以下の胃がん・肺がん・大腸がん検診の受診者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	200	200	100.0	170	85.0	120	70.6	
	実績	125	124	99.2	106	85.5			
指標名2		胃がんリスク検診(ABC検診)節目受診者数							
指標説明(式)		受診者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	50	100.0	50	100.0	0	0.0	
	実績	32	33	103.1	28	84.8			

【効率性】

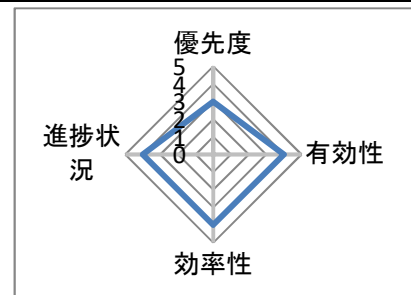
指標名1		健診回数							
指標説明(式)		集団健診の延べ回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	13	13	100.0	13	100.0	13	100.0	
	実績	13	13	100.0	13	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	受診人数としては大きな変化はないが、勤務先等で受診機会のない若年者の健康診査の機会となっている。	4
	市民サービス	若年者の健康診査受診の機会が得られ、健康づくりに活かすことができている。	
効率性	執行体制の効率性	若年者が受診しやすい環境づくりとして、健診回数や受診場所の拡大が検討されるが、健診機関、医師会等との調整が必要である。	4
	手段の最適性		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市単の健康診査として、低料金で若年者に健診の機会を設けることができている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	胃がんリスク検診を個別医療機関で受診可能にしていたが、費用対効果が得られていない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	個別の医療機関による受診を集団健診のみ受診可能とした。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102020300		事業の種類	1	
年度	30	事務事業名	後期高齢者健康増進事業		予算事業名	後期高齢者健康増進事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	清水 直子	担当者名	高橋 幸恵
取組み事項		病気などの早期発見と早期治療を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査に準拠した基本健康診査					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する75歳以上の市民					
	誰(何)を対象として	市内に居住する75歳以上の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活習慣病の予防を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		基本健康診査受診者数				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	基本健康診査	人	947	928	940	

3 投入資源

		一般会計							事業費単位:円
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.140	0.160	114	0.132	83	0.252	191	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,403,326	1,605,992	114	1,351,028	84	2,315,744	171	
	事業費	4,520,503	4,707,014	104	4,967,760	106	5,668,000	114	
	合計	5,923,829	6,313,006	107	6,318,788	100	7,983,744	126	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	4,699,280	4,614,133	98		0		-	
	一般財源	1,224,549	1,698,873	139	6,318,788	372	7,983,744	126	
	合計	5,923,829	6,313,006	107	6,318,788	100	7,983,744	126	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		基本健診受診者数							
指標説明(式)		基本健康診査受診者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	950	1000	105.3	1000	100.0	1000	100.0	
	実績	947	928	98.0	940	101.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

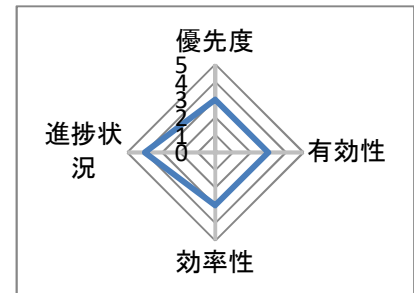
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	集団健診は、基本健康診査だけでなく、がん検診など同時に受診できる項目があることが充実しており、受診時間の予約制による待ち時間の解消により受診者数が少し増加した。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	生活習慣病の重症化を予防し、健康寿命の延伸に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	延べ13日間にわたり、公民館、小学校体育館など身近な場所で受診できる集団健診の実施により、受診機会を確保することができた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画受診者数同等の受診者数があった。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	なごさホールを中心に、JA、双小、多目的研修センターの外部の会場を借りて実施しているが、外部会場は、駐車場、待合場所の確保ができない。また、ほとんどが階段利用であり、高齢者にとって



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	安全に健診を受診してもらう会場設定にする。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102030100		事業の種類	1			
年度	30	事務事業名	予防接種事業		予算事業名	予防接種事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する			担当課長	清水 直子	担当者名	谷 藍加	
取組み事項		感染症のまんえんを予防する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		肺炎球菌ワクチン接種助成事業							
根拠法規及び関連法規		予防接種法・結核予防法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民全体(免疫水準の維持)							
	誰(何)を対象として	接種対象者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	予防接種を受け、健康を維持することができる。市民全体の免疫水準を維持することができる。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		定期予防接種A類(風しん・麻疹・日本脳炎・4種混合・3種混合・2種混合・不活化ポリオ、BCG、小児肺炎球菌、ヒブ、子宮頸がん予防、水痘)、定期予防接種B類(インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌)を実施する。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	定期予防接種A類	%	68.2	64.6	67.2	100	
	定期予防接種B類	%	44.7	45.7	45.7	60	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.580	0.240	41	0.260	108	0.196	75	
	臨時職員	0.080	0.420	525	0.232	55	0.164	71	
支出内訳	人件費	4,927,286	3,329,712	68	2,944,988	88	2,346,544	80	
	事業費	61,798,971	62,839,888	102	62,617,172	100	76,658,000	122	
	合計	66,726,257	66,169,600	99	65,562,160	99	79,004,544	121	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	66,726,257	66,169,600	99	65,562,160	99	79,004,544	121	
合計	66,726,257	66,169,600	99	65,562,160	99	79,004,544	121		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		予防接種A類接種率							
指標説明(式)		(各予防接種接種者数÷各予防接種接種対象者数)×100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	68.2	64.6	94.7	67.2	104.0			
指標名2		予防接種B類接種率							
指標説明(式)		(各予防接種接種者数÷各予防接種接種対象者数)×100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	60	60	100.0	60	100.0	60	100.0	
	実績	44.7	45.7	102.2	45.7	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

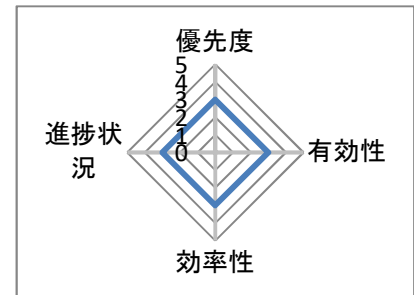
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	改正に合わせて、迅速な対応ができ、予防接種法等に合致する内容で実施できている。	3
	成果目標(改善)達成度	予防接種A型に関しては、前年度と比較し全体的に接種率は増加している。予防接種B型に関しては、横ばい。	
効率性	執行体制の効率性	予防接種A型に関しては、全て個別接種で通年実施となっており、接種しやすい環境が整っている。また、引き続き個別用タックシール使用により、接種回数の見落としや誤りを防ぐことができている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	前年度に比べ接種率は増加又は横ばいになっている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	未接種者に対して十分な周知ができていない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	定期健診時に接種状況を把握し、未接種者に対して保護者の周知を徹底する。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102030200		事業の種類	1		
年度	30	事務事業名	感染症予防事業		予算事業名	感染症予防事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する			担当課長	清水 直子	担当者名	中里 智美
取組み事項		感染症のまんえんを予防する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	感染症発生の疑いのある者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	感染症発生及びそのまん延の防止を図り、公衆衛生の向上を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		感染症予防に関する広報、ポスター等の掲示による啓発を実施した。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	消毒剤の購入量	袋	0	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.060	0.040	67	0.032	80	0.032	100	
	臨時職員	0.020	0.032	160	0.020	63	0.020	100	
支出内訳	人件費	852,666	764,120	90	663,008	87	645,044	97	
	事業費	0	2,268	-	0	0	88,000	-	
	合計	852,666	766,388	90	663,008	87	733,044	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	852,666	766,388	90	663,008	87	733,044	111	
合計	852,666	766,388	90	663,008	87	733,044	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

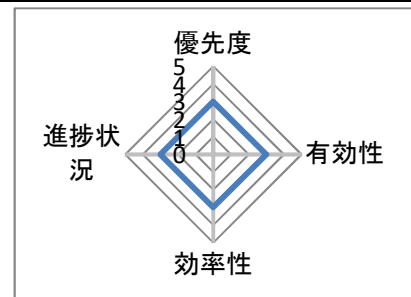
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	感染症の発生及びまん延を防止し、市民の健康を守る。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	感染症の発生及びまん延を防止する。	
効率性	コストの節減	感染症が発生しない限りコストも生じない。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	本事業の目的は、感染症の発生及びまん延の防止することであるが、平成30年度では発生していない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	情報収集及び市民への啓発活動の推進。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	情報収集及び市民への啓発活動の推進。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102030300		事業の種類	5	
年度	30	事務事業名	公衆浴場設備改善資金利子補給補助事業		予算事業名	公衆浴場設備改善資金利子補給補助事業	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	森川拓平
取組み事項		感染症のまんえんを予防する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市公衆浴場整備改善資金利子補給補助金公布要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	公衆浴場経営者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	公衆衛生の維持のために、市内唯一の公衆浴場の安定経営の維持					

2 事業の概要 Do

実施の概要		公衆浴場の数				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	施設数	件	1	1	1	1
	※都湯:相生地区					

3 投入資源

		一般会計							事業費単位:円
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.016	0.020	125	0.008	40	0.012	150	
	臨時職員		0.004	-		0		-	
支出内訳	人件費	468,986	536,008	114	429,212	80	430,544	100	
	事業費	164	0	0	0	-	1,000	-	
	合計	469,150	536,008	114	429,212	80	431,544	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	469,150	536,008	114	429,212	80	431,544	101	
合計	469,150	536,008	114	429,212	80	431,544	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利子補給対象借入件数							
指標説明(式)		H22年度まで 年間利子相当額の1/2つつを県市補助負担 H23年度から 利率1%超4%以内の利子額に対し県市1/2つつ補助							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	1	50.0	0	0.0	1	-	
	実績	2	0	0.0	0	-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

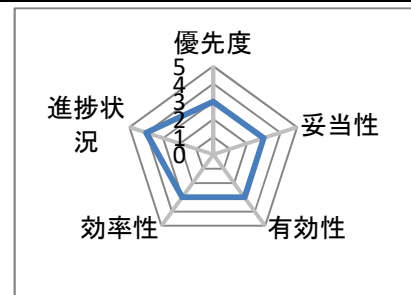
指標名1		県補助金							
指標説明(式)		利子補助額×1/2							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	公衆浴場がある相生地区においては、高齢者世帯を中心に風呂がない自家や古い家屋が多くあり、今日、利用者は減少傾向にあるが、需要がある限り、公衆衛生面から考えれば、公衆浴場存続の必要があり、事業として有効である	3
効率性	手段の最適性	本制度は、利用者も少なく、投資効果がない中での公衆浴場の改修を促すものであり、利用者の利便向上及び、事業者の経営安定のため、設備資金の借入に対する利子補給事業は最適な手段である	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102030400		事業の種類	4		
年度	30	事務事業名	衛生害虫駆除事業		予算事業名	衛生害虫駆除事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	森川拓平	
取組み事項		感染症のまんえんを予防する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	地域						
	意図(どのような状態にしたいのか)	日常及び水害時等において、不快害虫を駆除・防除し、快適な生活環境を維持する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		地区清掃等に係る自治会への害虫駆除薬剤配布 (SV乳剤→水性サフロチン)					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	薬剤配布(自治会数)	件	10	10	16	20	

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.020	0.008	40	0.024	300	0.024	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	499,126	432,856	87	548,156	127	524,804	96	
	事業費	0	75,600	-	0	0	96,000	-	
	合計	499,126	508,456	102	548,156	108	620,804	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	499,126	508,456	102	548,156	108	620,804	113	
合計	499,126	508,456	102	548,156	108	620,804	113		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		薬剤配布							
指標説明(式)		各自治会への配布本数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
本	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	10	10	100.0	16	160.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

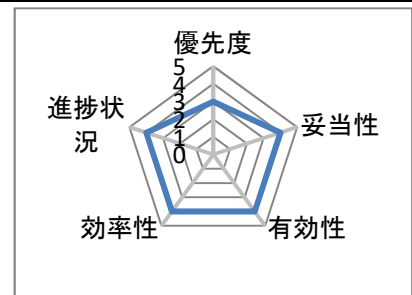
指標名1		薬剤購入							
指標説明(式)		薬剤購入費							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100,000	99,000	99.0	14000	14.1	96,000	685.7	
	実績	0	75600	-	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	公衆衛生確保の観点から市民サービスの貢献に努めた。	4
効率性	執行体制の効率性	市は薬剤費の支出を受け持つが、薬剤散布にあたっては、地元自治会が自主的に実施するため、役務面でのコスト削減につながっている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	地域で定期的に清掃活動を行うことを推奨することにより、薬剤散布の量も横ばいであり、コスト増の抑制につながっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	引き続きコストの抑制、削減に努めたい。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020102040100		事業の種類	1				
年度	30	事務事業名	食育推進事業		予算事業名	食育推進事業		優先度	3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部子育て元気課				
施策名(中)		健康づくりと予防対策を推進する			担当課長	清水 直子		担当者名	三木 由紀	
取組み事項		食育を推進する			実施計画への記載	主要事業の指定				
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		食育基本法								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民								
	誰(何)を対象として	市民								
	意図(どのような状態にしたいのか)	様々な経験を通じて食に関する知識や食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる								

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市食育推進計画を策定し、それにそって、地域、関係団体、保育所、幼稚園、学校、生産者、行政などが連携して食育活動を進める。								
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画				
	食育推進協議会	開催回数	1	1	3	1				

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.204	0.248	122	0.358	144	0.275	77	
	臨時職員	0.020		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,937,706	2,285,176	118	3,031,112	133	2,496,409	82	
	事業費	57,253	52,028	91	8,425	16	124,000	1,472	
	合計	1,994,959	2,337,204	117	3,039,537	130	2,620,409	86	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,994,959	2,337,204	117	3,039,537	130	2,620,409	86	
合計	1,994,959	2,337,204	117	3,039,537	130	2,620,409	86		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市食育推進計画の具体的な取組の進捗状況								
指標説明(式)		取組を行っている数÷取組むべき具体的な取組数								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考	
%	目標	95	95	100.0	100	105.3	70	70.0		
	実績	90	95	105.6	95	100.0				
指標名2		相生市食育推進計画の指標と目標値								
指標説明(式)		達成状況(目標達成数+目標に近づいているが未達成)÷指標数								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考	
%	目標			-	70	-		0.0		
	実績			-	50	-				

【効率性】

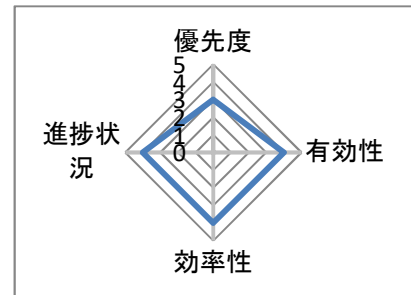
指標名1		相生市食育推進協議会開催回数							
指標説明(式)		市民の食育に関する有識者、関係団体から選出された委員が協議する							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	1	1	100.0	3	300.0	1	33.3	
	実績	1	1	100.0	3	300.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市食育推進計画(第2次)の評価、見直しを行い、第3次相生市食育推進計画に反映をさせて策定。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	国の第3次食育推進基本計画、兵庫県の食育推進計画(第3次)を踏まえ、整合性を図りながら第3次相生市食育推進計画を策定した。	
効率性	手段の最適性	既存の事業に長育を盛り込み実施すると共に、新事業、他部署、他団体と連携をした事業も行っている。また、2次計画の重点取組である、若い世代と男性への食育活動にも取り組んでいる。第3次計画にも若い世代の取り組みを取り入れている。	4
	執行体制の効率性	長育推進協議会、市内長育会議、作業部会と推進体制に沿って長育を推進することで、効果的な体制、方法で事業を推進している。また、各々の会において計画(第2次)の評価と見直しを行い、第3次相生市食育推進計画に反映をさせることができている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	問題なく進めている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	現在の食育活動を継続するとともに、高齢者への食育活動も強化する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	第3次計画に沿って食育活動を実施。年度ごとに重点取組を決め活動する。

配点	25
総合評価	18